

有効期間満了：2010年10月31日

案件名	エコバカンス
申請者	エコツアーラボ合同会社
認証区分・タイミング	I-1 商品使用・サービス利用 事後認証時
クレジット種別	京都クレジット AAU
クレジット量	69t
案件の概要	<p>カーボン・オフセット【エコバカンス】は、以下の全排出量を京都クレジット「AAU」の償却によってオフセットするエコツアーです。</p> <ul style="list-style-type: none">・ボート利用に伴う全排出量（燃料）・エコバカンスを提供するためにエコツアーラボ合同会社が行う準備作業に伴う全排出量（電力／燃料／水道／廃棄物）・全エコバカンス利用者の航空機利用に伴う排出量 *那覇宮古往復排出量の20% <p>【エコバカンス】は、環境貢献型のエコツアーです。「観光客が来れば来るほど美しくなる宮古島を目標」とし、環境と経済の両輪を回す新しい沖縄観光モデルです。また、【エコバカンス】とは、伊良部&下地島エコバカンス、ビジャス&青の洞窟エコバカンス、吉野海岸エコバカンス、池間島エコバカンスのことです。</p>
情報公開	<p><カーボン・オフセットとは></p> <p>地球温暖化には、もはや疑う余地がありません。地球温暖化防止のために私たちができる取組の一つに、「カーボン・オフセット」があります。カーボン・オフセットとは、自分の二酸化炭素排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）することをいいます。</p> <p>消費者の場合、日常的な家庭部門からの排出削減に加え、非日常の旅行などに伴う排出削減も大切です。それゆえ、カーボン・オフセット認証された商品やサービスの積極的利用が望まれています。</p> <p><オフセットの対象範囲></p> <p>バウンダリ（適用範囲）は、以下のすべてとする。別紙「エコバカンスの内容について」参照。</p> <ul style="list-style-type: none">・ボート利用に伴う全排出量（燃料）・エコバカンスを提供するためにエコツアーラボ合同会社が行う準備作業に伴う全排出量（電力／燃料／水道／廃棄物）・全エコバカンス利用者の航空機利用に伴う排出量 *那覇宮古往復排出量の20%

<算定方法>

排出量合計 68.03 t を 100%カーボン・オフセットしますが、その算定方法は、排出源の使用量に排出係数を乗じて求めています。以下にその結果と、カーボンオフセットの帰属先を明記します。

・エコバカンスを提供するためにエコツアーラボ合同会社が行う準備作業に伴う全排出量 9.74t (電力 9.61t、水道使用 0.09t、廃棄物処理 0.04t) ボート利用に伴う全排出量 14.85t (A 重油使用 14.85t) のオフセットしたことによる環境価値の帰属先は、申請者です。

* () 内数値は 2008 年度実績 (使用量、排出量、算定式、排出係数など) です。詳細は、以下の通りです。

【算定量・算定範囲】

・ボート利用による排出量 (合計 14.85t)

[A 重油使用 GHG 排出量] 14.85t

=年間使用量 (5.5t) × 2.70

* 上記使用量の内訳は、ダイビングボート実使用量 (3.5t)、定期航路 (平良港～佐良浜港) を自社ボート使用した場合の換算使用量 (2.0t) です。

・エコバカンスを提供するためにエコツアーラボ合同会社が行う準備作業に伴う全排出量 (合計 9.74t)

[電力使用 GHG 排出量] 9.61t

=年間電力使用量 (10,160kwh) × 沖縄電力排出係数 (0.946) / 1000

* 排出係数掲載 http://www.okiden.co.jp/environment/report2009/07/kanren/kanren_10.html

[水道使用 GHG 排出量] 0.09t

=年間水道使用量 (250 m³) × 水道排出係数 (0.36) / 1000

[廃棄物処理 GHG 排出量] 0.04t

0.04t = 年間廃棄物量 (115kg) × 廃棄物処理排出係数 (0.34) / 1000

・全エコバカンス利用者 3,000 名的那覇宮古往復航空機利用に伴う排出量の 20% (合計 43.44t)

[航空機利用 GHG 排出量] 43.44t

= 0.0362t × 2 (往復) × 3000 人 (参加者) × 0.2 (20%)

* 那覇宮古間航空機利用に伴う GHG 排出量 (36.2kg)

【活動量・排出係数とその根拠等】

・エコバカンスを提供するためにエコツアーラボ合同会社が行う準備作業に伴う排出量 (電力/燃料/水道/廃棄物)

電力は、サービス店舗、倉庫、寮使用分を算定範囲とし、沖縄電力領収書を算定根拠とする。

水道は、サービス店舗、倉庫、寮使用分を算定範囲とし、宮古島市水道局領収書を算定根拠とする。

廃棄物は、サービス店舗を算定範囲とし、廃棄物管理台帳を算定根拠とする。

燃料は、送迎車、営業車を算定範囲とし、コーラルブルー社からの購入を示す領収書を算定根拠とする。

・ボート利用に伴う排出量（燃料）

燃料は、ダイビングボートを算定範囲とし、佐良浜石油からの購入を示す領収書を算定根拠とする。

また、定期航路（平良港～佐良浜港）の燃料使用量は、自社ボート使用をした場合の換算使用量を算定根拠とする。

・全エコバカンス利用者の航空機使用排出分（那覇・宮古往復）

航空機使用は、那覇・宮古往復を算定範囲とし、全参加者の20%を算定根拠とする。

ちなみに、上記したバウンダリに関する2008年実績一覧表は、別途資料として添付しています。また、以下のウェブサイトでも公開中です。

<http://webman.jp>

なお、電力以外の排出係数に関しては、カーボン・オフセットフォーラム（J-COF）「カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン」を根拠としています。

- ・全エコバカンス利用者3,000名的那覇宮古往復航空機利用に伴う排出量の20%（43.44t）のオフセットしたことによる環境価値の帰属先はツアー参加者です。

* 那覇宮古往復の同排出量は $36.2\text{kg} \times 2 = 72.4\text{kg}$ 。

なお、温室効果ガス排出量は、カーボン・オフセットフォーラム（J-COF）が提供する「カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン」に基づき算定しています。

<オフセットの方法>

クレジットは、京都議定書で定められたもので、オフセットプロバイダーであるカーボンフリーコンサルタント社から69トンを購入し、販売目標3,000人分を予め日本政府の口座に移転し無効化します。（クレジット調達日：11月30日）

なお、温室効果ガス排出量は、カーボン・オフセットフォーラム（J-COF）が提供する「カーボン・オフセットの対象活動から生じるGHG排出量の算定方法ガイドライン」に基づき算定しています。

有効期間満了：2010年10月31日

	<p><クレジット情報></p> <p>クレジットの種類：京都クレジットAAU</p> <p>シリアルNo： NZ-000-000-000-620-558～ NZ-000-000-000-620-626</p> <p>数量：69t-CO2</p> <p>プロジェクトの種類：森林吸収源による排出権</p> <p>プロジェクトの実施国：ニュージーランド</p> <p>クレジット管理口座：JP-100-00000-00000-00129-00（委託先カーボンフリーコンサルティング株式会社の管理口座）</p> <p>償却予定日：平成21年11月30日</p> <p>クレジット管理方法：カーボンフリーコンサルティングにおける排出権在庫管理帳簿による管理。</p> <p>帳簿管理者：池田陸郎（カーボンフリーコンサルティング株式会社）</p> <p>最終点検記録日：平成21年9月30日</p> <p>クレジット用途：カーボンオフセットサービス用</p> <p>対象サービス：エコツアー「エコバカンス」</p> <p>数量：69t-CO2</p> <p>使用時期：認証決定日～認証決定日翌年の月末日</p> <p><販売価格、その他支払に関する事項></p> <p>エコバカンス 8,900円</p> <p>エコバカンス企画運営に伴う全排出量、ツアー参加者の航空機（那覇宮古島間）利用に伴う排出量20%の、全量をカーボン・オフセットしています。</p> <p>*キャンセル料は、前夜20時以降50%、当日8時以降100%。</p> <p><販売事業者情報></p> <p>エコガイドカフェ 運営統括責任者：猪澤也寸志</p> <ul style="list-style-type: none">・電話 0980-75-6050（平日10:00～19:00）・メール ghg@webman.jp・ウェブサイト http://webman.jp・住所 郵便番号906-0013 沖縄県宮古島市平良下里108-11 平良港マリンターミナル1F
--	--